

日経テレコンお客様各位

第一線のアナリストが調査・分析

「QUICK企業研究所業界レポート」

提供開始

日経テレコンは7月7日、記事検索メニューと業界情報メニューで「QUICK 企業研究所業界レポート」の提供を開始しました。このレポートはQUICK 企業研究所の第一線のアナリストが、各業種、産業テーマについて調査・分析した情報をPDF形式にしたものです。

ご提供コンテンツは以下の①～③の3種類あります。業界情報メニューでは以下の①と②を、記事情報メニューでは①～③全てを収録いたします。



① QUICK 企業研究所業界レポート（業種別業況概要）

内容：建設、不動産、小売、エネルギーなど17業種の業況概要。

収録データ：四半期（3, 6, 9, 12月）の25日頃に発行。各業種1ページ前後。

料金：見出し無料、PDF 800円/ファイル

② QUICK 企業研究所業界レポート（業種別詳報）

内容：17業種のセクターレポートと自動車・小売の月次統計解説。

収録データ：四半期に17業種のうち8業種のレポートを発行。統計解説は月次提供。

料金：見出し無料、PDF 1,200円/ファイル

③ QUICK 企業研究所業界レポート（産業テーマレポート）

内容：最新の産業トピック、複数業界にまたがるテーマレポートをそれぞれ解説。

収録データ：産業トピックは月次、テーマレポートは随時提供。

料金：見出し無料、PDF 1,200円/ファイル

利用方法

- 記事検索メニューのデータベース選択で、3つの列の右列「調査・統計・マーケティング」の中の「研究・調査・レポート」ブロックの上から2番目の「QUICK 企業研究所業界レポート」を選択してご覧ください（右図）。
- 業界情報メニューで「QUICK 企業研究所業界レポート」を選択してご覧ください（次ページ）。



「QUICK 企業研究所業界レポート」(業界情報メニュー 見出し一覧)

キーワードを入力してください

[日経NEEDS業界解説レポート](#)
 [日経業界地図](#)
 [日経シェア調査](#)
 [日経大予測](#)
 [世界業界マップ](#)
 [亜州IR中国産業データ&レポート](#)
 [矢野経済研究所マーケットシェア事典](#)
 [矢野経済研究所これから伸びる市場シリーズ UP](#)
 [富士経済グループ マーケットシェアデータ UP](#)

QUICK企業研究所 業界レポート

見出しをクリックすると、「QUICK企業研究所業界レポート」のPDFデータを直接表示します。

業種別業況概要(2014/06/25)		
建設	今後も大型インフラ工事の発注に期待	過去のレポート
不動産	オフィス賃貸の環境改善。今後の再開発に注目	過去のレポート
化学・繊維	引き続き、業績面で安定感のある銘柄を軸に	過去のレポート
医薬品	新薬の有無が成長を左右	過去のレポート
鉄鋼・非鉄	鉄鋼、非鉄ともに需要堅調も価格動向に注意	過去のレポート
総合重機	エネルギーなど成長分野の取り組みを注視	過去のレポート
民生エレクトロニクス	構造改革・成長戦略の進捗で明暗が分かれる	過去のレポート
産業エレクトロニクス・電子部品	足元は順調に回復、増収増益基調が続く見通し	過去のレポート
自動車	米国中心に需要堅調。攻めへの経営スタンスがより鮮明に	過去のレポート
総合商社	非資源分野中心の業績拡大続く見通し。株主還元強化の動きを評価	過去のレポート
小売	消費増税影響に加え冷夏リスク等も考慮し、慎重姿勢を継続	過去のレポート
運輸	輸送需要の増加、海上運賃回復などで14年度も増益を予想	過去のレポート
エネルギー	原発再稼働は今夏に間に合わない見通し	過去のレポート
銀行	国際部門収益の増加、設備投資資金の回復などが底堅い業績に寄与	過去のレポート

「QUICK 企業研究所業界レポート」提供記事サンプル(記事検索メニュー 見出し一覧)

新規 キーワードを入力してください 対象媒体・期間を変更

履歴 ▾

150件です に 件ずつ 本文の一部を表示

一括チェック 1-150/150件 <<先頭 <戻る 次へ>

- 【不動産】** オフィス賃貸の環境改善。今後の再開発に注目 **PDF表示**
2014/06/25 QUICK企業研究所業界レポート(業種別業況概要) 1~8ページ 1657文字 PDF有
- 【自動車】** 米国中心に需要堅調。攻めへの経営スタンスがより鮮明に **PDF表示**
2014/06/25 QUICK企業研究所業界レポート(業種別業況概要) 1~3ページ 1542文字 PDF有
- 【エネルギー】** 原発再稼働は今夏に間に合わない見通し **PDF表示**
2014/06/25 QUICK企業研究所業界レポート(業種別業況概要) 1~8ページ 1516文字 PDF有
- 【建設】** 今後も大型インフラ工事の発注に期待 **PDF表示**
2014/06/25 QUICK企業研究所業界レポート(業種別業況概要) 1~8ページ 1243文字 PDF有
- 【その他金融】** 事業環境は改善傾向。国内外で成長を目指す **PDF表示**
2014/06/25 QUICK企業研究所業界レポート(業種別業況概要) 1~8ページ 1242文字 PDF有
- 【化学・繊維】** 引き続き、業績面で安定感のある銘柄を軸に **PDF表示**
2014/06/25 QUICK企業研究所業界レポート(業種別業況概要) 1~8ページ 1220文字 PDF有
- 【運輸】** 輸送需要の増加、海上運賃回復などで14年度も増益を予想 **PDF表示**
2014/06/25 QUICK企業研究所業界レポート(業種別業況概要) 1~8ページ 1214文字 PDF有
- 【産業エレクトロニクス・電子部品】** 足元は順調に回復、増収増益基調が続く見通し **PDF表示**
2014/06/25 QUICK企業研究所業界レポート(業種別業況概要) 1~2ページ 1196文字 PDF有

「QUICK 企業研究所業界レポート（業種別詳報：自動車）」提供レポートサンプル
全6ページの最初の1ページ

QUICK 企業研究所

業種別詳報

決算速報および自動車統計(12年12月、13年1月)

自動車

2013年2月5日

QUICK 企業研究所 アナリスト 小西慶祐

1. 決算速報 ～3Q は想定線。焦点は為替の円安効果が大きい来期業績へ

【為替の円安効果で日野自とダイハツが上方修正】

1月31日から、自動車メーカー各社の13年3月期第3四半期の決算発表が始まった。決算発表の日程は表1の通り。自動車メーカー上場10社のうち、2月1日時点で発表を終了したのは、発表順に日野自(7205)、ダイハツ(7262)、ホンダ(7267)の3社である。

3社の13年3月期第3四半期(12年10～12月)3カ月の連結業績実績と、通期計画は図1～3の通り。13年3月期第3四半期3カ月は、ダイハツがエコカー補助金制度終了(12年9月上旬に受付終了)後の反動減で営業減益となった一方、日野自とホンダが営業増益だった。日野自は、国内外でトラック販売の拡販が進んだこと、ホンダは前年同期がタイでの大規模洪水による同社工場の浸水被害を受け低水準だった反動が大きかった。ただ、3社とも概ね想定線だった。

13年3月期通期の連結業績計画に関しては、営業利益で日野自とダイハツが上方修正、ホンダが従来計画を据え置いた。上方修正した2社は、主に為替の円安効果が主因。一方、ホンダは、為替の円安効果はあるが、欧州の四輪車、ブラジルでの二輪車販売が想定以上に苦戦しているなどとして、従来計画を変更しなかった(税引前利益、純利益は若干の下方修正)。

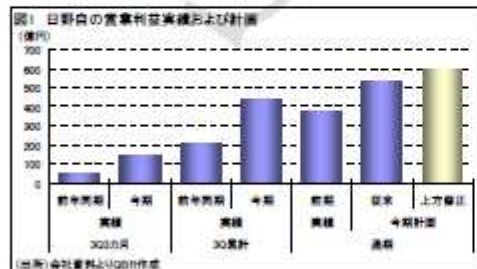
【為替の円安効果を中心に来期以降の業績がポイントに】

QBR では、株価をみる上では今期の業績ではなく、来期の業績へ焦点が移ったと考えている。来期の従来予想は、為替レートの前提を1ドル=78円、1ユーロ=100円としていたが、1ドル=90円、1ユーロ=120円に変更する。これにより、為替感応度の高い自動車メーカーの業績上ぶれ余地が大きい。特に、国

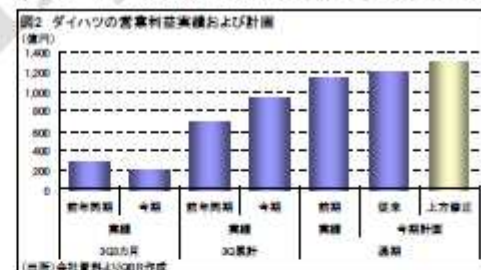
表1 第3四半期決算発表日程

日程	銘柄名
1月30日(水)	日野自(7205)
1月31日(木)	ダイハツ(7262)、ホンダ(7267)
2月1日(金)	
2月2日(土)	
2月3日(日)	
2月4日(月)	
2月5日(火)	三菱自(7211)、トヨタ(7203)
2月6日(水)	富士重(7270)、マツダ(7261)
2月7日(木)	スズキ(7269)
2月8日(金)	いすゞ(7202)、日産自(7201)

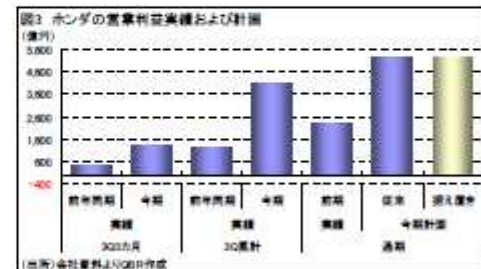
(出所)実績、会社資料からQBR作成



(出所)会社資料よりQBR作成



(出所)会社資料よりQBR作成



(出所)会社資料よりQBR作成

本資料のご利用に際して重要な事項を最終ページに記載しておりますので、必ずご確認下さい。



以上